

◆主な事業

【水沢区】

- ◇(仮称)市民活動支援センター整備事業(メインル) 37,389千円
- ◇市道和田黒田助線(2期・改良) 45,010千円
- ◇水沢駅内匠田線 60,000千円
- ◇堀ノ内公園整備事業 60,020千円
- ◇水沢小学校北校舎大規模(耐震補強)改修工事 82,000千円

【江刺区】

- ◇市道八幡線 73,632千円
- ◇市道中田線 60,666千円
- ◇光ネット整備事業 815,749千円
- ◇下惣田ふれあい公園整備事業 97,621千円
- ◇玉里地区センター改築工事 120,000千円

【前沢区】

- ◇総合施設整備事業(幼保一体施設) 45,223千円
- ◇世界遺産登録保存事業(白鳥館遺跡) 48,000千円
- ◇土地区画整理事業(前沢北地区) 60,000千円
- ◇ふるさとづくり事業(JR東西交流通路) 291,790千円
- ◇街路整備事業(中央線・新町線) 200,000千円

【胆沢区】

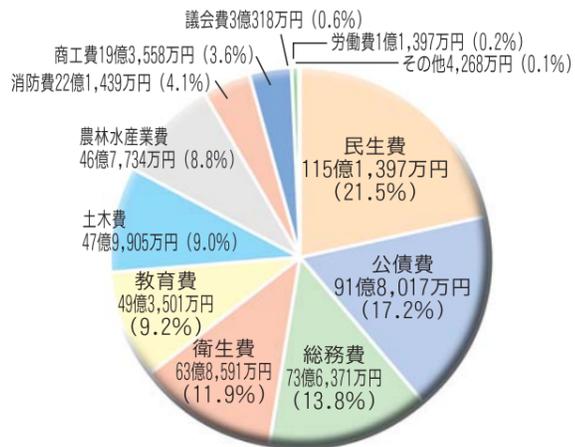
- ◇防災まちづくり事業 コミュニティ消防センター、防火水槽等 28,500千円
- ◇ほ場整備(創設用地) 76,181千円
- ◇ほ場整備事業(都鳥地区) 24,150千円
- ◇市道天沢丑転線道路新設改良事業 50,010千円
- ◇道路側溝等整備事業 31,200千円

【衣川区】

- ◇衣川橋六道線新設改良事業 40,010千円
- ◇天田線新設改良事業 50,010千円
- ◇関袋橋橋梁整備事業 60,010千円
- ◇衣川幼稚園建設工事 幼保一体化施設 320,538千円
- ◇幼稚園通園バス整備事業 12,000千円

わたしたちの税金、どんなところに使われるの？

歳出



皆さんからお預かりする大切な税金を、計画的、効果的に執行していきます。

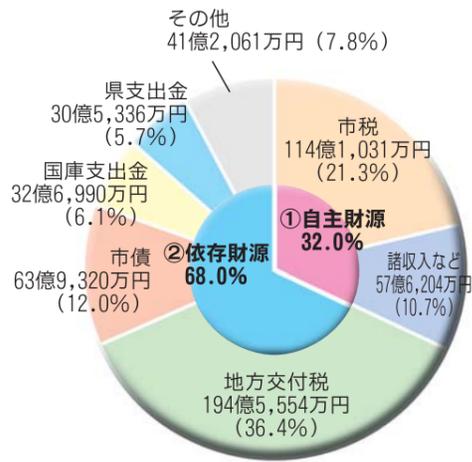
新市建設計画の実施

予算には新市建設計画の事業費として、水沢区5億7923万円、江刺区14億3512万円、前沢区9億927万円、胆沢区3億5284万円、衣川区4億9574万円および広域分10億8977万円の合計48億6198万円が含まれています。各自治体の平成18年度事業費は今後、入札結果などの事業費の確定によって変動すると思われるため、補正予算などで随時調整していくことになります。

財政計画との比較

合併協議会の際に作成された財政計画では、本年度決算見込額は554億4500万円を見込んでいました。本予算額はこれに比較すると、19億8000万円、3.6%の減となっております。これは、普通建設事業費が計画額7億1400万円に対し予算額58億1423万円に約19億円減少したことなどによるものです。なお、この財政計画は、国の三位一体改革の影響や、本年度策定予定の市総合計画、行財政改革実施計画などを考慮した内容で見直しをすることになっていきます。

歳入



本年度の一般会計の総額は、534億6496万円です。合併5市町村の平成17年度当初予算に比べ19億7356万円、3.8%の増となりました。

歳入の大きな部分を占める市税および地方交付税のうち、市税は、ほぼ前年度並み。地方交付税は、5億9849万円、3.2%の増が見込まれます。市債は、前年度と比較して9億9410万円、18.4%増となりますが、新規発行額は63億9320万円、元金償還額74億552万円を下回り、年度末の起債残高は減少することになります。

平成18年度一般会計予算

534億6,496万円

奥州市18年度予算

平成18年度予算は、合併により4月から6月までの暫定予算を編成していたところですが、6月市議会定例会で本予算が審議・可決されました。合併協定書で確認された事項や事務事業の調整結果によって決定した、皆さんの生活に直結する部分に重点的に予算配分しています。本年度予算のあらましをお知らせします。

市の予算の基本

予算は、市の基本的な仕事をするために使われる一般会計、国民健康保険や下水道事業などのように特定の収入(保険料や使用料など)で支出が賄われる特別会計、病院や水道事業のように支出を収益で賄う企業会計の3つに分かれています。

合併前の3.8%増に

平成18年度全会計予算額

(単位:千円)

名称	18年度予算額	17年度旧5市町村予算額	増減額	対前年度伸び率(%)
一般会計①	53,464,962	51,491,399	1,973,563	3.8
特別会計②	42,048,600	40,804,242	1,244,358	3.0
国民健康保険	11,367,496	10,881,407	486,089	4.5
(事業勘定)				
(直営診療施設勘定)	1,108,952	1,233,071	△124,119	△10.1
老人保健	13,168,104	13,154,234	13,870	0.1
簡易水道事業	1,970,832	1,492,934	477,898	32.0
下水道事業	3,835,697	3,895,164	△59,467	△1.5
農業集落排水事業	2,159,242	1,826,755	332,487	18.2
浄化槽事業	456,790	284,622	172,168	60.5
介護保険	7,512,399	7,601,050	△88,651	△1.2
(保険事業勘定)				
(サービス事業勘定)	329,223	231,536	97,687	42.2
バス事業	92,347	190,755	△98,408	△51.6
公共用地先行取得等事業	39,321	4,100	35,221	859.0
米里財産区	8,197	8,614	△417	△4.8
企業会計③	9,568,756	9,903,153	△334,397	△3.4
総合水沢病院事業	3,922,103	4,139,810	△217,707	△5.3
(収益的支出)				
(資本的支出)	575,654	742,786	△167,132	△22.5
国保まごころ病院	1,017,559	887,201	130,358	14.7
(収益的支出)				
(資本的支出)	63,881	223,062	△159,181	△71.4
水道事業	1,787,172	1,791,439	△4,267	△0.2
(収益的支出)				
(資本的支出)	1,862,027	1,748,570	113,457	6.5
国民宿舎等事業	326,023	313,459	12,564	4.0
(収益的支出)				
(資本的支出)	14,337	56,826	△42,489	△74.8
総計(①+②+③)	105,082,318	102,198,794	2,883,524	2.8

す。歳入の不足分は、市の貯金である基金を取り崩すこととしました。

歳出は、安定的な財政運営基盤の確立のため、人件費および物件費などの経常経費の抑制に努めました。市民生活に直結する扶助費は大幅に伸びました。これは合併に伴うサービス水準の向上や生活保護費の旧町村部

適用などによるものです。投資的経費は、3億3759万円、6.2%の増で、新市建設計画の実施によるものです。

年度末市債残高は、839億9428万円で、市民1人当たり(平成18年5月末人口13万723人)で計算すると、64万3000円(前年度末65万1000円)になります。

財政用語辞典

- 市税：市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税など。歳入の中心になる貴重な財源
- 地方交付税：全国の市町村が一定水準の行政サービスを確保できるように、国税(所得税、酒税、法人税など)から配分されるお金
- 市債：公共施設の整備や財源不足を補うため、市が長期に借り入れるお金
- 国庫支出金：特定の事業の財源の一部として、国から支出されるお金
- 県支出金：特定の事業の財源の一部として、県から支出されるお金
- 諸収入など：公共施設の使用料や財産収入などのお金
- 民生費：お年寄りや子ども、障害者など福祉や医療などに使われるお金
- 公債費：市債を返済するお金
- 衛生費：こみやし尿の処理、リサイクルなどの環境対策や、保健事業などに使われるお金
- 教育費：小・中学校や幼稚園、公民館、図書館、スポーツ振興などに使われるお金
- 土木費：道路の舗装や、公園、河川の整備、市営住宅の管理などに使われるお金
- 総務費：税務、戸籍事務などに使われるお金
- 消防費：火災予防や消火、救急救助活動に使われるお金
- 暫定予算：合併などの理由により通常予算が年度開始前までに成立しない場合に、一定期間の最小限度必要とされる経費の支出を可能にする予算